

中国留学体験記

21018029 樺澤新太

私は今回の派遣留学を利用し、2019年8月末から2019年12月末までの間中国の北京師範大学に入学しました。この四ヶ月で私は多くの体験をして、考え方が大きく変わりました。ここで、留学期間中に感じたことを述べます。

留学した初めは、慣れない環境で暮らしていけるかなど不安が多くありましたが、楽しみなことも多くありました。私にとっては初めての海外とこともあり、日本との違いや外国の人と触れ合える大きな経験ができる場で、大きな発見や考え方が変わるなどの自分を変える大きな一歩でもありました。実際、留学して生活をしていると自分の考え方や考える視野の小ささを実感しました。日本だけでは、他国のことをニュース等の記事でしか知ることができません。一番理解できるのは実際にその国に行かなければ感じられず知ることができないと思いました。今まで思っていた中国の印象であったり、中国人のイメージとは全然違いました。そこで、自分が見ていたものは、中国のほんの一部であったと思いました。

次に授業面です。最初は、先生が言っていることが全く理解することができず、これから先やっつけられるのかとても不安で落ち込むことも多かったです。分からないところがある時には、先生がわかりやすい様に優しい中国語で、教えてもらいました。ジェスチャーなども使い、生徒がしっかり理解できるようにしてくれていました。最初は、質問することは周りも劣っていると感じ、なかなかすることができずにいましたが、質問することは恥ずべきことではなく、自分を成長させるものだと思うようになりました。それから、先生に文法の間違いであったり、意味を聴くようにしていきました。また、クラスメイトも同じようにしてくれてとても助かりました。

最後に、国際交流の面です。クラスメイトはみんな違う国で、多くの国の人がいました。国が違えば考え方や感じ方も全て違いました。クラスメイトと話しているうちに、自分とは違う視点から物事を考えていて、思いもつかなかった考え方をされていて、驚くことが多かったです。また、授業でも自国のことを説明することがあり、日本には無い行事や物を知ることができ、もっと多くの国のことをしたいと思うようになりました。

今回の交換留学では、自分を変える大きな一歩になると思い、志願しました。その結果、日本では味わうことができない刺激が多くあり、これからの将来に大きな影響を与えるいい経験でした。